



南中学校区人権学習推進委員会

テーマ「人権が守られ、すべての人が大切にされるまちづくりをめざして」
重点課題「子ども・障がい者・高齢者」

南風ふれあい人権弁論の会

小・中学校の児童・生徒と大人の方々の発表から、異なる世代の考え方や思いを知ることにより心の交流が一層深まり、そのことがすべての人が大切にされるまちづくりを推進する大きな力になると思い、平成16年度から毎年11月に開催しており、100名を超える参加者があります。平成25年度で記念すべき第10回目を迎えました。

発表者は、大高・旭丘・中島・倉敷南小学校から各1名、南中学校から2名、4小学校区から成人各1名の計10名が熱い思いを発表してくださり、聞いていていつも新たな感動を覚えます。

発表者に対する賞は、優劣をつけるのではなく努力を讃えるため、発表にふさわしい賞名をつけ表彰しております。(あったか言葉いっぱい賞、言葉の力 さわやか賞 など)

感想も過半数を超える参加者が書いてくださり、心の琴線にふれた、涙が出るほどよかった、自分の生き方を見直すきっかけになったなどの感想が寄せられています。また、来年以降もずっと継続して開催してほしいとの要望も多いため、この会を南中学校区の誇れる事業として続けていきたいと思えます。



第10回 南風ふれあい人権弁論の会



人権啓発
ティッシュも
配布して
います！

たくさんの感想をいただきました！

いずれもすばらしい発表で驚いています。

一人一人がこのような考え方もち暮らしていけば、いじめで悩む事もない平和な暮らしができるのに…

自分を大切に、人を大切に、物を大切に過ごしていきたいと思いました。

大丈夫、応援しているよという言葉もつけて、子や孫にも今日聞いたお話をしてやりたいと思いました。

たくさんの人権弁論を聞かせていただき、とても勉強になりました。

第10回の記念の会に参加させていただけたことを嬉しく思います。

「人権」というものをもう一度考え直すよい機会となりました。

とてもいい発表ばかりで、考えさせられるものでした。もっともっと多くの人に聞いていただけるような会になるよう願っております。